

平成 27 年第 1 回加西市教育委員会会議録

1. 開会日時 平成 27 年 1 月 29 日 (木) 13 時 30 分
2. 閉会日時 同 日 16 時 20 分
3. 開催場所 加西市役所 5 階大会議室
4. 出席委員 委 員 長 内 藤 堯 雄
委 員 市 場 かおり
委 員 荒 木 貴 子
委 員 渡 邊 隆 信
教 育 長 松 本 直 行

5. 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名

教育次長	後 藤 倫 明
教育総務課長	中 倉 建 男
学校教育課長	柿 本 博 司
こども未来課長	伊 藤 勝
文化スポーツ課長	深 江 克 尚
図書館長	上 坂 寿 人
総合教育センター所長	安 富 均
教育総務課総務係長	伊 藤 陽 子

6. 付議事項

議案第 1 号 加西市子どものいじめ防止等に関する条例の制定について (取り下げ)

議案第 2 号 加西市子どものいじめ防止等に関する条例施行規則の制定について

(取り下げ)

議案第 3 号 加西市体育施設の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について

7. 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8. 質問及び討議の内容

議案第 3 号 加西市体育施設の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について

文化スポーツ課長より、加西市体育施設の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について説明する。管理運営に関する条例の中にぜんぼうグリーンパークを追加するものである。善防池の一部を埋め立てて、グラウンドを整備したもので、平成17年から整備を行ってきており、体育協会に管理運営をお願いしている。施設のできる大きな鎖で出入口を管理しており、駐車場部分とグラウンドの整備もできた。昨年、土地開発公社から市所有の土地になったため、公の施設として管理運営するために条件整備をし、体育施設に加えるものである。

教育委員よりグリーンパークは何に使っているのかとの質問があり、文化スポーツ課長より、グラウンドがあるだけで周辺に駐車場がある。スポーツ少年団がサッカーの試合や練習に利用している。町対抗のソフトボール大会や、地元の老人会がグランドゴルフにも利用していると回答する。

9. 議決事項

議案第3号 加西市体育施設の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について

原案どおり可決

10. 報告事項

(1) 教育長から

教育長より、次の3点について報告する。

「東光寺 田遊び・鬼会」について、1月8日（木）の夜、上万願寺町の東光寺で、五穀豊穰と無病息災を祈念する新年の伝統行事として知られる国指定無形民俗文化財の「田遊び・鬼会」が行われた。「田遊び」「鬼会」は、室町末期に始まり、400年以上の歴史を持っており、長く地元住民の手で受け継がれている。農耕儀式の「田遊び」に続く「鬼会」では、厄災を追い払うため、たいまつ火の粉を散らして暴れ回る鬼に、参拝客が歓声を上げた。鬼とともに地元の子どもたちも参加し、地域の伝統を継承する地元の方々の姿勢に心打たれた。

「防災教育」について、阪神・淡路大震災20周年を迎え、市内の各学校では、様々な行事が催された。北条東小学校では、1月16日（金）に避難訓練の後、阪神・淡路大震災当時、神戸市長田区で被災した自校教諭より被災体験が語られた。また、加西中学校では、1月16日（金）に東日本大震災のボランティアとして活動した自校卒業生の若者より、震災

後4年の被災地の様子と防災の大切さが語られた。そして、北条中学校では、23日（金）に阪神・淡路大震災で被災した2人の若者より、被災体験とその後のボランティア体験が語られた。これらの話より、子どもたちは、「命の大切さ」「人の温かさ」「毎日を大切に生きることの素晴らしさ」などを学んだ。

「平成26年度姉妹都市プルマン市への中学生親善訪問団派遣事業」について、派遣期間は、平成27年3月25（水）～4月3日（金）、訪問団員は、市内中学2・3年生8名と、引率者2名の計10名である。出発までに5回の研修会が予定されている。

(2) 教育次長から

教育次長より、平成27年度教育の重点の策定について報告する。大枠については、平成26年度の教育の重点を基本とし、平成23年から27年の教育振興基本計画に基づいて策定に取り掛かった。教育の重点の中に3つの重点施策を設けている。「0歳から15歳までの一貫した教育を進めます。」「市民が主役の生涯学習社会づくりを進めます。」「みんなでこどもの未来を応援します。」このことについては、27年度も継続・発展する。

策定に当たっては、分かり易い文章表現で市民に啓発する。策定ができれば2月の定例教育委員会で議案として提案する予定である。平成27年度の教育政策のトピックスについても市民に広く啓発・周知するため、ダイジェスト版を作成する予定である。県教育委員会では、第2期の兵庫教育創造プランに基づいて、平成27年度の指導の重点を素案ではあるが策定されている。その創造プランの中で、「自立」が1つのキーワードになっている。それにかかわる項目が4つある。第1番には自立して未来に挑戦する態度の育成があげてある。その中には、キャリア形成の支援、体験活動の重視、国際化に対応した教育と伝統文化に関する教育を目標にしている。自立して未来に挑戦する態度の育成をはじめとして、生きる力を育む教育の推進。子どもたちの学びを支える仕組みの確立。すべての県民が学ぶ生涯学習社会の形成の4つの大きな柱になっている。加西市においても、教育の重点の中に県の指導の重点を踏まえながら同一歩調で進めていく。加西市の第2期教育振興基本計画は平成27年度に策定審議会を設け策定を進める。

教育委員より、教育の重点に「人権」のことばが入っているかとの質問があり、教育次長より、豊かな心の育成の中に人権に関する表現はあるが、文言では入っていないと回答する。

(3) 教育総務課長の報告

教育総務課長より、教育施設耐震化工事等進捗状況について報告する。

富田小学校南校舎地震改築工事は、2階の躯体工事が進んでいる。九会小学校南校舎・善防中学校体育館・富合小学校北校舎耐震補強工事と北条東幼稚園整備工事は、完成している。

九会小学校北校舎、下里小学校北校舎、賀茂小学校校舎耐震補強工事設計と、西在田小学校地震改築工事設計委託業務は、実施設計を進めている。善防公民館空調設備改修工事は、受配電設備・空調設備工事で25%の進捗である。教育施設天井等非構造部材落下防止対策工事設計は、実施設計を行っている。加西中学校屋外環境整備工事は、雨水貯留槽の工事と物置の工事で30%の進捗である。加西中学校体育館コートライン改修工事は、完成しており既に使用している。

(4) 学校教育課長の報告

学校教育課長より、北播磨採択地区協議会規約（案）について報告をする。前回説明した教科書の共同採択について、北播磨圏内5市1町が協議会を設けて行う。名称は、北播磨採択地区協議会である。組織は10名の委員で構成し、関係市町の教育長6名、義務教育諸学校長1名、教頭1名、教諭1名、保護者代表1名である。委員の任期は1年間であり、任期途中で交代する場合は、その前任者の残任期間となる。会長は、関係市町村の教育長を充てる。協議会の会議は会長が招集する。図書を選定方法は委員全員の一致によって決する。協議が整わない場合は、過半数の投票により選定する。選定した時は、遅滞なく選定した教科書の通知を行う。調査委員は教科毎に調査研究を行い、種目毎に調査結果を取りまとめ、協議会に報告する。

次に、平成26年度文部科学大臣優秀教職員表彰の受賞について報告する。文部科学省において、平成18年度から学校教育における教育実践等で、優れた成果を上げた教員に対して、功績を称え資質向上を目指すため文部科学大臣優秀教職員表彰を行っている。この度、賀茂小学校の是常教諭が、1月19日に東京で表彰を受けた。

続いて、「第74回全国教育美術展」における全国学校賞『教育美術特賞』受賞について報告する。泉中学校と北条小学校が、全国の幼小中の2,689校より120,270点の応募の中から選ばれ、全国学校賞である教育美術特賞を受賞した。泉中学校については、今回の受賞は、昨年の「教育美術振興会名誉会長賞」に続くもので、2年連続の受賞となった。全国で8校しか選ばれない中で2校も選ばれたのは快挙である。

最後に、平成26年度姉妹都市プルマン市への中学生親善訪問団派遣事業について報告する。目的は、国際感覚あふれる人材育成と市民交流を目指す。実施主体は加西市・NPOねひめカレッジで、期間は平成27年3月25日～4月3日である。訪問団員は市内中学生8名と引率者2名の合計10名である。結団式を1月31日に行い計5回の事前研修を行う。

(5) こども未来課長の報告

こども未来課長より、児童療育室（ひまわりルーム）について報告する。児童療育室は、

子どもの心身の発達に不安を持つ保護者を対象に相談業務を行っている。ドクターや各種専門家がスタッフとして働いている。特定非営利活動法人「まーぶるキッズ」が、加西市と委託契約をし、健康福社会館の中で事業を行っている。平成27年4月より、保育所、幼稚園、その他関係施設との連携を強化するため、健康福祉部から教育委員会に所管を移し、施設の土日開所もあわせて行う。業務は引き続き「まーぶるキッズ」が受託する。

(6) 文化スポーツ課長の報告

文化スポーツ課長より、かしの木学園合同閉講式特別学習会公開講座について報告する。「かしの木学園」とは、市内の4公民館で活動している高齢者学級のことである。この度閉講式にあたり、京都サンガの前GMである祖母井秀隆氏を講師に招いて公開講座を開催する。当日は、こども狂言塾の子ども達に、5月に開催予定の播磨国風土記1300年祭で発表予定の創作狂言「根日女」を、講演会に先だって演じていただく。祖母井氏には講演会前日に、指導者向けサッカー教室も開催していただく予定である。市内中学校のサッカー部員の協力を得て、市内外のサッカー指導者向けにサッカーの指導方法について教えていただくと説明する。

(7) 図書館長の報告

図書館長より、第一次世界大戦開戦100年記念講演会について報告する。2月7日(土)アステシアかさいにて、「世界の中の青野原」と題して、神戸大学大学院教授の天津留厚氏を招いて講演会を開催する。また、2月1日(日)～20日(金)まで加西市立図書館内にて、「100年前の加西と第一次世界大戦」と題した資料展を同時開催する。このような展示会は3回目であるが、今回は新たに第一世界大戦宣戦布告書のコピー、青野原俘虜収容所の配置平面図を展示する予定である。

次に、絵本と音楽でつづるおはなし会について、2月14日(土)に「かさい・えほんの森」読み聞かせボランティアと協働で、松崎由美さんのエレクトーンにあわせて読み聞かせを行う。

続いて、特別整理期間について、2月21日(土)～28日(土)まで、蔵書点検やこの期間しかできない特別な館内清掃、修繕等を行う。この期間中、図書館は休館するが、職員は勤務していると報告する。

(8) 総合教育センター所長の報告

総合教育センター所長より、加西市小中連携推進プランについて報告する。「発達や学び

の連続性を保つ小・中学校の連携教育を進めます」を目指して、これまでも小中連携を進めてきたが、さらに積極的な展開を実現するためプランを作成した。「学力向上」「中1ギャップの解消」「教師力の向上」を重点目標に、様々な取組を推進する。効果として、「系統性のある教育の実現」「楽しく、わかりやすい授業の創造」「児童生徒の規範意識の向上」「異年齢集団での活動による自尊感情等の高まり」「不登校の減少」「発達段階に応じた指導方法や指導の連続性についての共通理解」が期待される。「学習指導」「児童生徒理解・生徒指導」「児童会・生徒会・学校行事」「研究・研修会」「地域・PTA」の5つの観点ごとに、4段階のステップになっている。ステップ1は現在実施していることで、ステップが上がるごとに発展していく。概ね3年間でステップ4まで実施できることを目標に、各中学校区の特色を大切にしながら進めていく。保護者向けのリーフレットを5000部作成し、市内小中学校の児童・生徒の保護者への配布や市内隣保回覧を予定している。

次に、「小中学生のインターネット等の使用に関する現状と今後の対策」保護者向け啓発リーフレットについて報告する。インターネット等の利用に関わるアンケート調査をした結果、保護者の方に注意していただく点等、調査・分析結果をお知らせするものである。

11. 協議事項

なし

12. 教育委員の提案

教育委員より、プルマン市への中学生親善訪問団派遣事業について、目的は親善訪問なのか、英語を通じた学習は目的ではないのかとの質問があり、学校教育課長より、今夏に1泊2日の英語の合宿を計画しており、そこで親善訪問に派遣される生徒には、体験したことを発表してもらう予定である。また、各学校でも報告会を行う予定であると回答する。

教育委員より、派遣された生徒が、帰国後、この体験を大いに活かしてほしいとの要望がある。

教育委員より、小中連携推進プランについて、現在、実施していることを5つの観点からうまくまとめてあると感じた。具体的にどのように5つのポイントが活かされて、小中連携を進めていくのか。PDCAサイクルに当てはめると、P（計画）D（実行）の後のC（評価）A（改善）については、どう進めていくのか。学習指導の9年間の系統性を考えて、学習指導要領にも体系的な学習の内容は記載されているが、それに加えて、加西市においては、どういった内容を主眼において小中連携のカリキュラムを検討されているのかとの質問があり、総合教育センター所長より、来年度は、国語・算数（数学）・英語を中心として、9年間を見通したカリキュラムの作成に取り組む。総合教育センターが中心となり、小中連携推進

委員の方に集まっていただき、推進会議を開催する。そして、体系的なカリキュラムということで、小学校と中学校のカリキュラムをどのように繋げていくのか、共通して重点的に力を入れて取り組むべきことは何か。全国学力状況調査の結果も参考にしながら、加西市の課題となる部分を中心として9年間のカリキュラムを考えていく必要があると回答する。

教育長より、小中連携推進プランを進めるにあたり、市指定研究発表会においては、小中学校が一緒になって取り組むことも重要である。P（計画）に沿ってD（実行）を頑張り、C（評価）を行い、A（改善）を進めていくと説明する。

加西市とプルマン市との友好親善のための取組の中の 하나가、子どもたちによる互いの市への相互訪問である。プルマン市などでは、英語でのコミュニケーションに積極的にチャレンジしてほしい。研修計画に含まれる英会話研修やプレゼン研修を活かして、自分の思いを相手に伝えたり、相手の思いを受けとめられるようチャレンジしてほしい。そして、帰国後は、それらの体験を友だちや家族、いろいろな人たちに話してほしいと思う。学校教育課は、これらの思いを当該事業担当部署に伝えてあると説明する。

教育委員より、プルマン市への中学生親善訪問担当部署には、目標をしっかり持って、どのようなやり方がよいのか見通しをもって、やっていただきたいとの要望がある。

13. 今後の予定について

- ・平成27年第2回定例教育委員会 2月23日（月）13:30～ 市役所5階大会議室
- ・平成27年第3回定例教育委員会 3月27日（金）14:00～ 市役所1階多目的ホール

この会議録は、事務局職員が作成したものであるが、真正であることを認めここに署名する。

平成 27 年 1 月 29 日

出席委員

(出席委員署名)